COLOR DISPLAY

Patent number:

JP63152897

Publication date:

1988-06-25

Inventor:

NIRE TAKASHI; WATABE TAKETO

Applicant:

KOMATSU MFG CO LTD

Classification:

- international:

G09F9/30; H05B33/12

- european:

G09F9/33; H05B33/10; H05B33/12; H05B33/14;

H05B33/22

Application number: JP19870163477 19870630 Priority number(s): JP19860156896 19860703

Also published as:



EP0537864 (A2) EP0313656 (A1) WO8800382 (A1 FI890007 (A) EP0537864 (A3)

more >>

Report a data error he

Abstract not available for JP63152897
Abstract of corresponding document: EP0313656

Device comprises an EL element section (1) consisting of many thin film EL element cells formed so as to emit white light and a colour filter section (2) consisting of filters of set colours provided on the surface of the EL element section in correspondance to the various cells and in which a colour display is produced by controlling voltages (V) imposed on the EL elements in accordance with picture information.

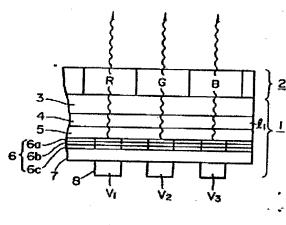


FIG.1 (a)

Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

⑭ 日本国特許庁(JP)

@ 特許出願公開

母 公 開 特 許 公 報 (A) 昭63 - 152897

@Int_Cl_4

啟別記号

庁内整理番号

❷公開 昭和63年(1988)6月25日

H 05 B 33/12 G 09 F 9/30

365

6744-3K 6866-5C

審査請求 未請求 発明の数 1 (全5頁)

60発明の名称

カラー表示装置

②特 顧 昭62-163477

人

❷出 願 昭62(1987)6月30日

優先権主張

❷昭61(1986)7月3日每日本(JP)動特願 昭61-156896

砂発 明 者

神奈川県平塚市中原3-18-11

砂発明者 渡

部

神奈川県伊勢原市板戸920.

②出 願 人 株式会社小松製作所

楡

東京都港区赤坂2丁目3番6号

20代理人 弁理士 木村 高久

明都書

1. 乾明の名称

カラー表示装置

2.特許請求の範囲

このEL素子部の表面に、各セルに対応して所 定の色の色フィルタを配数してなる色フィルタ部 からなり、

各類数とし素子への印加電圧を直貨板に応じて 制御することにより、カラー表示を行なうように したことを特徴とするカラー表示装置。

(2) 終記各類脱E し素子は、飼一のガラス基板上に配列せしめられ、透明電極と、第1の誘電体限と、発面電極とが 臓と、発光層と第2の誘電体限と、背面電極とが 臓次積減せしめられてなる二重誘電体構造の解脱 毛し素子であることを特徴とする特許路域の範囲

節(1)項記載のカラー表示装置。

(3)前記E1、素子部は、各セルの誘電体層、発光器および第2の誘電体層が一体的に形成されると共に、透明電極および背面電極は互いに直交するように所定の関限で配列せしめられたストライプラインからなり、両ストライプラインの交差を を発光部とするようにしたことを特徴とする特許 路叉の範囲節(1)項記載のカラー表示装置。

(4) 前配発光度は、家色発光層、緑色発光層、 青色発光層の3層構造で構成されていることを特 微とする特許蓄求の範囲第(3) 項配収のカラー表 示装置。

(5) 前記末色発光図は、サマリウム (Sm) とフッ素 (F) とを含有してなる硫化亜鉛類 (ZnS) であることを特徴とする特許請求の範囲節(4) 項記載のカラー表示装置。

(6) 前記録色発光周は、エルビウム(Er)と 弗素とを含有してなる硫化亜鉛層であることを特 数とする特許語求の範囲第(4) 項記数のカラー表 示装置。

特別昭63-152897(2)

(7) 終記者色充光間は、ツリウム(Tm)とファ素を含有してなる硫化亜鉛度であることを特徴とする特許請求の範囲第(4) 項記収のカラー表示装置。

(8) 前記見光超は、盛素 (N) を含有してなる 白色発光器であることを特徴とする特許請求の範 朗信(3) 恵記載のカラー表示装置。

(9) 前記充光数はセリウム(Co)とEu(ユーロピウム)とカリウム(K)を含有してなる硫化ストロンチウム(SrS)層であることを特徴とする特許節求の範囲第(3) 項記載のカラー表示装置。

(10) 前記色フィルタ部は、各色に染色せしめられた染色性ポリマー圏から構成されていることを特徴とする特許請求の範囲第(1) 項配収のカラー表示装置。

3、発明の詳欄な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、カラー表示装置に係り、特に、EL

装置は、液晶自体の特性により、コントラストが 悪く、視野角が非常に狭いという問題があった。 またこのような装置では、パックライトとしての 光環が必要であり、このために液晶部は静いが装置全体としては厚くなってしまうという問題もあった。

本現明は、前記実情に鑑みてなされたもので、 コントラストが高く、投身角の広い辞型のカラー 表示装置を提供することを目的とする。

(問題点を解決するための手段)

そこで本発明は、白色光を発する静原EL素子を配列せしめてなるELパネルと、カラーフィルタどによってカラー表示装置を構成している。

(作用)

例えば、ガラスは収上にEし素子からなるセルをマトリクス状に配列し、このEし素子の発光面側にこの各セルに対応して頑灰繰り返し配列された素色透過フィルタ、緑色透過フィルタからなる色フィルタを形成するようにし、面骨椎に応じて各セルに印加する褐圧を制御

パネルとカラーフィルタとを一体化して構成した カラー表示装置に関する。

(従来の技術およびその問題点)

最近、カラー表示核型の分野でも小型弾型で、 消費電力の低いものを求める傾向が強まってきて おり、液晶をシャッターとして用いたポケットテ レビ等の商品化が注目され始めている。

しかしながら、このようなフルカラー特型表示

することにより、色フィルタを介して所望の輝度 および色度を有する光を発するようにしている。

すなわち、この装置では、液晶を用いることなく、例えば3原色を含む白色光を発するEL素子を光散および光量調整手段として用いるようにしているため、コントラストおよび視野角を単大することができる。また、パックライトが不要となるため、神型化することができる。

(実施例)

以下、本発明の実施例について図面を参照しつ つ詳額に説明する。

第1回(a)および(b)は、本発明実施例の 黎型カラー表示装置を示す図である。(第1図 (a)は第1図(b)のA-A販面図である。)

このカラー表示装置は、夫々が直繋に対応する 多数の難膜をしま子のセルCがマトリクスはに配 列せしめられてなるとしま子都1と、 数としま子 都の表面に一体的に配設せしめられた色フィルタ 郡2とから構成されており、各セルからの光を色 フィルタ都を介して出力せしめるようにしたもの

特開昭63-152897(8)

である.

そして、鉄EL素子部1は、ガラス基板3上に **所定の間隔で複数の坊1のストライプライン!!** wan を構成するように記録された酸化インジウ ム蝎(ITO)腹からなる透明電極4と、五数化 タンタル(Taz Оs 〉 雌からなる第1の誘電体 **贈5と、硫化亜鉛(2n8)にツリウム(Tm)** とフッ素(F)とを夫々1%含有せしめてなる膜 類O. 5 単の青色乳光膜 6 a と、硫化亜鉛にエル ピウム (Er) とフッ素とを夫々約1%含有せし めてなる質素の、2年の緑色発光製8b、硫化亜 鉛にサマリウム(Sm)とフッ素とを夫々約1% 含有せしめてなる膜厚約0.2㎞の赤色発光層 6 c との 3 夏 構造の 発光 題 6 と、 五 酸 化 タンタル 履からなる第2の誘電体置7と、前記第1のスト ライプライン1 1 … 1 n に直交するように配列さ れた節2のストライプラインV1 …Vn からなる アルミニウム(Al)因からなる背面電極8とか ら表成されており、前記透明電極4の名ストライ プラインと前記背面電艦8の名ストライプライン

との間に夫々画情報に応じた電圧を印加し、両者の交差部に位置する発光度6を発光せしめるように構成されている。この発光原型は第2因(a)に示す如くであり、このようにして各数長の光が発光せしめられる。第2因(b)に、この発光度からの光の発光スペクトルを示す。すなわち、ここでは、この交差部が1つのセルを構成することになる。

また、色フィルタ部2は、名セルCに対応して、 E L 素子部のガラス基板側に配設されており、第 1 図(b)に平面図を示す如く、夫々染色性のポ リマー脳からなる赤色透過フィルタR、緑色透過 フィルタG、青色透過フィルタBが順次配列せし められて構成されている。

このカラー表示装置のコントラスト特性を第3 図に示す。この図から明らかなように1000 # x 以下で1:100程度となっており、極めて 良好でめる。また、従来のものの1:10に比べ ても大幅に向上している。

また、輝度の視角依存性を第4回に示す。本発

明のカラー表示装置は実線で示されており、60 で白色光を発するようにすることも可能である。 皮以上までほとんど再度が低下していない。また、・第5回にCe、Eu、Kを含有するSrSの発光 点線で示されている従来のカラー表示装置に比べ スペクトルを示す。これによっても一層で白色光 ても非常に高視受角であることがわかる。 を得ることができる。更に、実施例における名発

更に、この表示装置ではパックライトが不用であり、ガラス基板を含めても厚さは約 1 mm と非常に薄い。

なお、実施例では、各セルを一体的に形成したが、発光質をはじめ各層を夫々、セル釘に分離して配設するようにしてもよい。環機についても同様である。

また、発光周の構造自体についても3層構造と する必要はなく、例えば窒素(N)を含有する硫 化亜鉛あるいは、セリウム(Ce)とユーロピウム(Eu)とカリウム(K)を含有する硫化ストロンチウム、あるいは、セリウム(Ce)とユーロピウム(Eu)とカリウム(K)を含有する CaSrS、またはBaSeまたはZnSまたは ZnCdSまたはZnF2 またはSrTiOaまたはBaTiOa等を発光型として用いれば一個 で白色光を発するようにすることも可能である。 第5回にCe、Eu、Kを含有するSrSの発光 スペクトルを示す。これによっても一層で白色光 を符ることができる。更に、実施例における名発 光層の狂光中心となる不純物の含有量は、1%に 設定されるものではなく0.1~5%の範囲で適 宜変更可能であり、不純物の種類についても適宜 変更可能である。

加えて、色フィルタについても、実施例に示したように、ガラス基板上に直接塗布された染色性ポリマー器を用いる他、別体として形成したものを被着する等、適宜変更可能である。

また、保護膜等を適宜付加することも可能である。

(効果)

以上説明してきたように本発明によれば、白色光を発するように形成された静談日し素子からなるセルを複数個配列し日し素子都を構成すると共に、この表面に、名セルに対応するように所定の色のフィルタを形成し、画情報に応じて、名セル

特開昭63-152897(4)

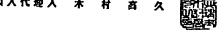
8…背面世権、C…セル。

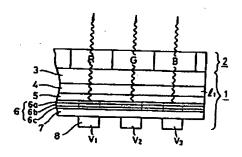
を飛光せしめ色フィルタを介して出力せしめることにより、カラー表示を行なうようにしているため、コントラストが良好でかつ輝度の視覚依存性が良好で極めて都型のカラー表示装配を得ることができる。

4. 図面の簡単な説明

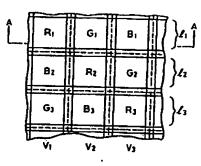
第1回(8)および(b)は、夫々、木雅明実施例のカラー表示装置を示す新面図を示すののカラー表示装置を示すの同様にの発光のの発光のの発光のの発光のの発光のの発光ののでは、第3回は数回のでは、第3回はないのののでは、第5回に使来例のの発光スペクトルに、数にはできるの発光スペクトルを示すのである。

100 -- シャッタ手段、101 -- 光額、102 -- フィルタ手段、1 -- E L 素子部、2 -- 色フィルタ部、3 -- ガラス基板、4 -- 透明電板、5 -- 第 1 の誘電体度、6 -- 乳光器、7 -- 第 2 の誘電体膜、

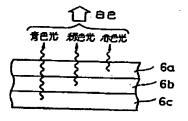




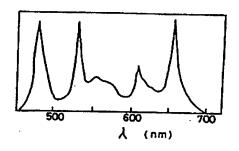
第1図(a)



第1 図(b)

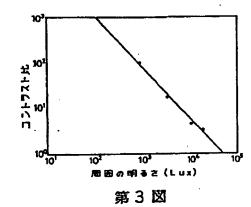


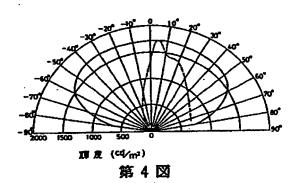
第2図(0)

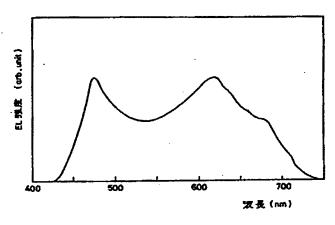


第2図(b)

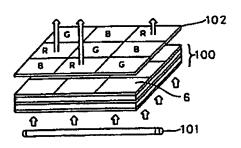
特開昭63-152897(5)







第5図



第6図